



リソースの管理

この章では、Cisco ISE ネットワーク リソースを管理するための情報と手順について説明します。次のトピックを扱います。

- 「ディクショナリおよびディクショナリ属性」(P.10-1)
- 「RADIUS-Vendor ディクショナリ」(P.10-3)

ディクショナリおよびディクショナリ属性

ディクショナリは、ドメインのアクセス ポリシーの定義に使用できる、属性および許容される値のドメイン固有のカタログです。個々のディクショナリは、同種の属性タイプの集合です。ディクショナリで定義されている属性のタイプは同じであり、タイプは特定の属性のソースまたはコンテキストを示します。

属性タイプは次のいずれかになります。

- MSG_ATTR
- ENTITY_ATTR
- PIP_ATTR

属性と許容される値に加えて、ディクショナリには、名前と説明、データ型、およびデフォルト値などの属性に関する情報が含まれます。属性は、次のいずれかのデータ型を持つことができます。

BOOLEAN、FLOAT、INTEGER、IPv4、OCTET_STRING、STRING、UNIT32、および UNIT64。

Cisco ISE では、インストール中にシステム ディクショナリが作成され、ユーザ ディクショナリを作成することもできます。

システム定義ディクショナリとディクショナリ属性

Cisco ISE はインストール中にシステム ディクショナリを作成し、それは [システム ディクショナリ (System Dictionary)] ページで参照できます。システム定義ディクショナリ属性は、読み取り専用属性です。その性質のために、既存のシステム定義ディクショナリは表示しかできません。システム定義の値またはシステム ディクショナリ内の属性を作成、編集、削除することはできません。

システム定義ディクショナリ属性は、属性の記述名、ドメインによって認識される内部名、および許可される値で表示されます。

また、Cisco ISE は、システム定義ディクショナリの一部でもあり、インターネット技術特別調査委員会 (IETF) で定義された、属性の IETF RADIUS セットのディクショナリ デフォルトを作成します。ID を除く、空いているすべての IETF RADIUS 属性フィールドを編集できます。

関連項目

- 「システム ディクショナリおよびディクショナリ属性の表示」(P.10-2)
- 「ユーザ定義ディクショナリおよびディクショナリ属性」(P.10-2)

システム ディクショナリおよびディクショナリ属性の表示

システム ディクショナリ内のシステム定義属性を作成、編集、削除することはできません。システム定義属性は、表示のみできます。ディクショナリの名前および説明に基づくクイック検索か、または定義した検索ルールに基づく高度な検索を実行できます。

-
- ステップ 1** [ポリシー (Policy)] > [ポリシー要素 (Policy Elements)] > [ディクショナリ (Dictionaries)] > [システム (System)] を選択します。
- ステップ 2** [システム ディクショナリ (System Dictionary)] ページでシステム ディクショナリを選択し、[表示 (View)] をクリックします。
- ステップ 3** [ディクショナリ属性 (Dictionary Attributes)] をクリックします。
- ステップ 4** システム ディクショナリ属性をリストから選択し、[表示 (View)] をクリックします。
- ステップ 5** [システム ディクショナリ (System Dictionary)] ページに戻るには、[ディクショナリ (Dictionaries)] リンクをクリックします。
-

ユーザ定義ディクショナリおよびディクショナリ属性

Cisco ISE では、[ユーザディクショナリ (User Dictionary)] ページで作成したユーザ定義ディクショナリが表示されます。システムで作成され、保存された既存のユーザディクショナリの [ディクショナリ名 (Dictionary Name)] または [ディクショナリタイプ (Dictionary Type)] の値は変更できません。

[ユーザディクショナリ (User Dictionary)] ページで、次を実行できます。

- ユーザディクショナリを編集および削除します。
- 名前および説明に基づいてユーザディクショナリを検索します。
- ユーザディクショナリのユーザ定義ディクショナリ属性を追加、編集、および削除します。
- ディクショナリ属性に許容される値を追加または削除します。

関連テーブル

- 「ユーザ定義ディクショナリの作成」(P.10-2)
- 「ユーザ定義ディクショナリ属性の作成」(P.10-3)

ユーザ定義ディクショナリの作成

ユーザ定義ディクショナリを作成、編集、または削除できます。

-
- ステップ 1** [ポリシー (Policy)] > [ポリシー要素 (Policy Elements)] > [ディクショナリ (Dictionaries)] > [ユーザ (User)] を選択します。

- ステップ 2** [追加 (Add)] をクリックします。
- ステップ 3** ユーザ ディクショナリの名前、任意の説明、およびバージョンを入力します。
- ステップ 4** [ディクショナリ属性タイプ (Dictionary Attribute Type)] ドロップダウン リストから属性タイプを選択します。
- ステップ 5** [送信 (Submit)] をクリックします。

関連項目

[「ユーザ定義ディクショナリ属性の作成」 \(P.10-3\)](#)

ユーザ定義ディクショナリ属性の作成

ユーザ ディクショナリのユーザ定義ディクショナリ属性を追加、編集、および削除できるほか、ディクショナリ属性に許容される値を追加または削除できます。

- ステップ 1** [ポリシー (Policy)] > [ポリシー要素 (Policy Elements)] > [ディクショナリ (Dictionaries)] > [ユーザ (User)] を選択します。
- ステップ 2** [ユーザ ディクショナリ (User Dictionary)] ページでユーザ ディクショナリを選択し、[編集 (Edit)] をクリックします。
- ステップ 3** [ディクショナリ属性 (Dictionary Attributes)] をクリックします。
- ステップ 4** [追加 (Add)] をクリックします。
- ステップ 5** 属性名の名前、任意の説明、およびディクショナリ属性の内部名を入力します。
- ステップ 6** [データ型 (Data Type)] ドロップダウン リストからデータ型を選択します。
- ステップ 7** [追加 (Add)] をクリックして名前、許容される値を設定し、[許容される値 (Allowed Values)] テーブルにデフォルトのステータスを設定します。
- ステップ 8** [送信 (Submit)] をクリックします。

関連項目

- [「結果」 \(P.B-18\)](#)
- [「RADIUS ベンダー ディクショナリ属性の設定」 \(P.B-8\)](#)

RADIUS-Vendor ディクショナリ

Cisco ISE では、一連の RADIUS-Vendor ディクショナリを定義し、それぞれに一連の属性を定義できます。リスト内の各ベンダー定義には、ベンダー名、ベンダー ID、および簡単な説明が含まれています。

Cisco ISE では、次の RADIUS-Vendor ディクショナリがデフォルトで用意されています。

- Airespace
- Cisco
- Cisco-BBSM

- Cisco-VPN3000
- Microsoft

RADIUS プロトコルは、これらのベンダー ディクショナリおよび、許可プロファイルおよびポリシー条件で使用できるベンダー固有属性をサポートします。

関連項目

- 「RADIUS ベンダー ディクショナリの作成」 (P.10-4)
- 「RADIUS-Vendor ディクショナリ属性の作成」 (P.10-4)

RADIUS ベンダー ディクショナリの作成

RADIUS ベンダー ディクショナリも作成、編集、削除、エクスポート、およびインポートできます。

-
- ステップ 1** [ポリシー (Policy)] > [ポリシー要素 (Policy Elements)] > [ディクショナリ (Dictionaries)] > [システム (System)] > [Radius] > [Radius ベンダー (Radius Vendors)] を選択します。
- ステップ 2** [追加 (Add)] をクリックします。
- ステップ 3** RADIUS-Vendor ディクショナリの名前、任意の説明、および RADIUS ベンダーのインターネット割り当て番号局 (IANA) によって承認されたベンダー ID を入力します。
- ステップ 4** 属性値から取得されたバイト数を選択して、[ベンダー属性タイプ フィールドの長さ (Vendor Attribute Type Field Length)] ドロップダウン リストから属性タイプを指定します。有効な値は、1、2、および 4 です。デフォルト値は 1 です。
- ステップ 5** 属性値から取得されたバイト数を選択して、[ベンダー属性サイズ フィールドの長さ (Vendor Attribute Size Field Length)] ドロップダウン リストから属性の長さを指定します。有効な値は 0 と 1 です。デフォルト値は 1 です。
- ステップ 6** [送信 (Submit)] をクリックします。
-

関連項目

- 「RADIUS-Vendor ディクショナリ属性の作成」 (P.10-4)

RADIUS-Vendor ディクショナリ属性の作成

Cisco ISE がサポートする RADIUS ベンダー属性を作成、編集、および削除できます。各 RADIUS-ベンダー属性には、名前、データ型、説明、および、要求のみに関連するか、応答のみに関連するか、または両方に関連するかを指定する方向が含まれています。

-
- ステップ 1** [ポリシー (Policy)] > [ポリシー要素 (Policy Elements)] > [ディクショナリ (Dictionaries)] > [システム (System)] > [Radius] > [Radius ベンダー (Radius Vendors)] を選択します。
- ステップ 2** [RADIUS ベンダー ディクショナリ (RADIUS vendor dictionaries)] リストから RADIUS ベンダー ディクショナリを選択し、[編集 (Edit)] をクリックします。
- ステップ 3** [ディクショナリ属性 (Dictionary Attributes)] をクリックし、[追加 (Add)] をクリックします。
- ステップ 4** RADIUS ベンダー属性の属性名と任意の説明を入力します。
- ステップ 5** [データ型 (Data Type)] ドロップダウン リストからデータ型を選択します。

- ステップ 6** [MAC の有効化オプション (Enable MAC option)] チェックボックスをオンにします。
- ステップ 7** [方向 (Direction)] ドロップダウン リストから RADIUS 要求のみ、RADIUS 応答のみ、またはその両方に適用する方向を選択します。
- ステップ 8** [ID] フィールドにベンダー属性 ID を入力します。
- ステップ 9** [タグ付けの許可 (Allow Tagging)] チェックボックスをオンにします。
- ステップ 10** [プロファイルでこの属性の複数のインスタンスを許可 (Allow multiple instances of this attribute in a profile)] チェックボックスをオンにします。
- ステップ 11** [追加 (Add)] をクリックして、[許容される値 (Allowed Values)] テーブルにベンダー属性に許容される値を追加します。
- ステップ 12** [送信 (Submit)] をクリックします。
-

関連項目

[「RADIUS ベンダー ディクショナリ属性の設定」 \(P.B-8\)](#)

